

別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあっては名称) 株式会社 セブン-イレブン・ジャパン		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒102-8455 東京都千代田区二番町8番地8	
本票作成	部署名：建築設備本部 エネルギー部				
主たる業種	分類コード	58	業種名：飲食料品小売業		
事業の概要	フランチャイズ方式によるコンビニエンスストア（セブン-イレブン）を展開。岡山県内に326店舗（2022年3月末時点）事業所が1か所。				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	津山高野店		岡山県津山市高野本郷1677-1	
	②	岡山矢津		岡山県岡山市東区矢津1514-2	
	③	倉敷駅前		岡山県倉敷市阿知2-8-1	
	④	岡山東中央町		岡山県岡山市北区東中央町5-21	
	⑤	岡山桃太郎大通り		岡山県岡山市北区野田屋町1-1-15	
⑥	岡山昭和町		岡山県岡山市北区昭和町10-16		
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 (●工場等の数 326 所      ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

計画期間	令和 5 年度 ~ 令和 7 年度 ( 3 箇年度)								
削減目標	いずれかを選択	<input checked="" type="checkbox"/> 総排出量基準	目標削減率 3.0 %	目標区分	20%以上	20~15%	15~10%	10~5%	5%未満
		<input type="checkbox"/> 原単位基準							○
温室効果ガス排出量	基準年度 (令和 4 年度)			目標年度 (令和 7 年度)					
	15,024 t CO <sub>2</sub>			14,573 t CO <sub>2</sub>					
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		基準年度 (令和 4 年度) の排出量					
	①	津山高野店		83 t CO <sub>2</sub>					
	②	岡山矢津		81 t CO <sub>2</sub>					
	③	倉敷駅前		80 t CO <sub>2</sub>					
	④	岡山東中央町		78 t CO <sub>2</sub>					
	⑤	岡山桃太郎大通り		75 t CO <sub>2</sub>					
⑥	岡山昭和町		75 t CO <sub>2</sub>						

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容	原単位当たり排出量	
		基準年度	目標年度
		CO <sub>2</sub> / ( )	CO <sub>2</sub> / ( )

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (令和 4 年度)	達成率 (%)
指標の状況	通常コンビニエンスストア業	707.000 KWh /百万円以下	566 KWh	124.9%

【目標削減率設定の基本的な考え方】

- セブン&アイグループの環境宣言『GREEN CHALLENGE 2050』において、「脱炭素社会」を目指すべき社会の姿として掲げ、店舗運営に伴うCO<sub>2</sub>排出量を2013年度対比で2030年までに▲50%、2050年度までに実質ゼロを目標に、省エネ、再生可能エネルギーの利用拡大を進めていく。
- 新店、改装店、既存店への省エネ設備の導入、加盟店における省エネの取組促進により、店舗の電気使用量を削減し、CO<sub>2</sub>排出量総量の削減に努めていく。

**【目標削減率達成のための推進体制】**

●コンビニエンスストア事業と地球環境保全の調和をめざし、本部と全国の事務所、直営店を対象に、2014年から国際規格の環境マネジメントシステムISO14001認証を取得。  
 この環境マネジメントシステムISO14001を運用することで、環境に対する様々な取組を進めている。  
 各部門の取組として、ISO担当者が最新の環境知識の習得や技術の導入検討を進めるため、独自のテキストを使ったSDGsに関する情報発信や、環境イベントへの参加を促す等、各部門が効果的な活動を考え取組を行っている。  
 今後も環境マネジメントシステムISO14001の運用を継続して、地球環境に配慮した事業運営に努めて参ります。

**【排出量削減のためのこれまでの主な取組】**

工場等の名称	取組内容
対象店舗	対象店舗において更新計画に基づく設備更新（2022年度実績） ・IHフライヤーの更新 ・新型LED照明の更新 ・冷設備の更新 太陽光発電の設置及び発電した電力の使用 ・195店舗(2023年3月末時点) 2,014,449kWh/年

**【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】**

工場等の名称	措置内容
対象店舗	更新計画に基づく継続的な設備更新 ・IHフライヤー ・新型LED照明 ・冷設備 ・空調機等  設置可能店舗への太陽光発電の設置

**【森林保全等吸収源対策への取組計画】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【再生可能エネルギーの導入計画】**

県内での取組	有	設置可能店舗へ太陽光発電設備の設置
その他	無	

**【その他特記事項】**

- ・CSRレポート・ホームページ等での情報発信
- ・店舗における石油由来のプラスチックの削減施策として店舗にてお渡しするスプーンなどのカトラリーは一部店舗で植物由来のバイオマス素材が配合された環境配慮型カトラリーに変更、また、店内の販促物を環境配慮型素材に変更することでプラスチック使用量を12%削減しています。
- ・店舗における食品ロスの低減及び廃棄物の減量化として下記施策を実施しています。  
 「てまえどりの推進」「エシカルプロジェクト」「食品リサイクル」「サステナブルな原材料の使用」
- ・店頭にペットボトル回収機を設置し、回収したペットボトルを再使用したオリジナル商品を開発し販売しています。